

部局名	生涯学習部	所属名	男女共同参画課	所属長名	恵 芙久子	電 話	485-7088
-----	-------	-----	---------	------	--------	------	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		4067		事務事業名称		男女共同参画センター運営事業						短縮コード		経常	4067		臨時	4068							
予算区分		会計	01	一般会計			款	10		教育費			項	05		社会教育費			目	12		男女共同参画費			
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		八千代市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例 同条例施行規則 八千代市「女性、こころの悩み電話相談」事業実施要領																
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																									
昭和60年3月八千代市総合計画に「高度な学習や研修が拡大され、多様な活動を推進する婦人及び婦人団体の活動の場となる婦人研修センターを建設する」と位置づける。63年4月教育委員会青少年課を青少年婦人課に改組し婦人係を新設する。平成元年6月八千代市女性研修センター（平成7年度までは婦人研修センター）設置により女性の地位向上などの主催講座を行う。平成16年4月市役所組織一部改正により、名称を男女共同参画センターとした。平成18年4月男女共同参画課とセンターを同一配置にし、事務の効率化を図りながら男女共同参画講座などの学習機会や市民活動の場の提供また相談事業を実施する。																									
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測							総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		02		人間尊重都市をめざして													
男女共同参画社会の実現に向けての取り組みは、職場、学校、家庭、地域等においても、少しずつではあるが進んでいると思われる。また、DV対策を始めとする人権尊重への取り組みや子育て支援・高齢者等への取り組みが行われているが、これらに対しては男女共同参画の推進が求められているところである。								大項目（節）		04		男女共同参画社会													
								中 項 目		01		男女共同参画社会													
								小項目（施策）		02		男女共同参画社会の促進													
								細 項 目		01		男女が平等に豊かに暮らすことができる環境の整備													
実施計画の 計画事業																									
計画事業の位置付けの有無					☐	計画事業期間		平成11年4月 ～ 平成18年3月				計画事業費			千円										

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	センターを利用している人 男女平等意識づくりの主催講座に参加希望している人											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 男女共同参画課とセンターを同一配置にして事務の効率化を図りながら、男女共同参画社会づくりの推進や女性の社会進出に向けての主催講座を実施した。また、男女共同参画社会づくりを進めている団体と共催で事業を実施し、地域ボランティア講師及び保育者による協力で行った。参加者は広報、男女共同参画センターだより、ちらしにて募集。また、講座終了後に参加者に感想、意見を聞き今後の課題、改善策として取り入れた。											
	※平成19年度に計画していること： 男女共同参画社会づくりの更なる推進を図る事を目的に、一人でも多くの方に主催講座に参加してもらうため、講座内容の充実、市民に見やすい「男女共同参画だより」の作成を行い配布の工夫をする。また、ボランティア講師や保育者の協力により経費節減につとめる。昨年度課とセンターの同一配置により減になった学習室に代わる「場」として、ロビー及び談話コーナーをグループ等に提供して利用者の増を図る。											
意図 （何を狙っているのか）	意識づくりにより、家庭の生活の仕方が変わったり、PTAや地域の役割を引き受けるようになり、また女性の社会進出が増えるようになる。さらに、相談事業により自己実現が出来るようになる。											
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	男女が均等に政治的、経済的、社会的に対等なパートナーとして、いろいろな方針の決定に参画する(参加するだけでなく決定に至るまでの相談及び議論の場に参加する) ことのできる社会づくりの実現に結びつく。											
区 分					単位	17年度		18年度		19年度		
						実績		計画		実績		計画
対象指標	指標1	センターを利用している人の数			人	14,386		14,500		9,990		10,000
	指標2	男女平等意識づくりの主催講座に参加希望している人			人	449		450		342		350
	指標3											
活動指標	指標1	実施計画に基づいた講座の実施回数			件	36		13		21		11
	指標2	講座に参加した人数			人	449		450		342		350
	指標3											
成果指標	指標1	講座後に自主活動を行っている人数			人	53		41		41		41
	指標2	「女性、こころの悩み電話相談」件数			件	658		720		704		710
	指標3											
上位成果指標	指標1											
	指標2											
	指標3											

コード	4067	事務事業名称	男女共同参画センター運営事業				所属名	男女共同参画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			男女共同参画課と男女共同参画センターの同一配置により、事務の効率化が図られているが、今後、職員の役割の見直し及び臨時職員の配置などを検討することにより、課とセンターの統合も考えられる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☒ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
		☐ 廃止						
		☐ 休止						
		☐ 現状のまま継続						
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			課とセンターの統合が図られた場合は、職員の役割の見直し及び臨時職員の配置などにより、コストの削減を図ることができる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
講座に参加した市民からは、「参加して良かった、役に立った、また機会があったら受講したい」との意見を数多くもらっている。継続的な事業をやってほしいとの意見があった。中には、これらの意見の反映で主催講座後に自主学習グループの活動が行われている。さらにこれらの自主グループからの発案をセンター協力のもとに広く市民に啓発事業を発信したいという意見があり、これらを受け止めて、センターでは市民企画で男女平等意識づくり事業を実施している。また、平成18年3月定例会予算審査特別委員会において、「社会の現況から男性も仕事等の悩みを抱えているので、男性のための電話相談事業を検討して欲しい」との要望があった。									

所属長コメント	男女共同参画センター運営事業では、男女が、あらゆる分野において、政治的・経済的・社会的に均等なパートナーとして認め合え、そのためにはいろいろな方針の決定に参画することのできる社会の実現、すなわち個人の多様な選択が可能な社会の実現に向けて、「やちよ男女共生プラン」に基づき、主催講座の実施や市民の自主活動への支援、また相談事業や情報提供により、男女平等意識づくりや女性の社会進出等の推進を目指す。主催講座の参加人数は、講座の実施回数により、増減があるが、参加者には喜んでもらえ、また、主催講座実施に協力する保育ボランティアの市民や、主催講座後の自主グループ活動は実践する市民が増えていることに繋がる。また、女性、こころの悩み電話相談は17年度から開設日を検討し3日としたが、効率良い相談対応をすることで、18年度はその悩みに多く対応できている。加えてDV対策等の具体的な対応を求める相談には、市役所の所管課や専門機関と連携し、求めに応じている。さらに、今後は課とセンターの組織と職員の役割を見直すことで、統合した場合は、事務の有効性や人件費コストの削減を図ることができる。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			「男女共同参画推進事業」との統合により積極的に改革・改善を推進すべき					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☒ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									